

施策マネジメントシート(2021年度の振り返り、総括)

作成日 2022 年 7 月 1 日

基本目標	V	地域をささえるひとづくり	主管課	名称 町民福祉課 課長 中西 紀子	
施策	24	平和と人権の尊重	関係課	生涯学習課 生涯学習係	

施策の目的	対象	意図	基本事業	基本事業名	対象	意図
	町民	平和や人権への意識を高め、お互いを尊重する。		1 人権意識の高揚 2 相談・保護体制の強化 3 男女共同参画の推進 4 平和意識の高揚	町民 人権侵害を受けた人 町民 町民	人権についての正しい理解と認識を深め、意識を高める。 人権に関するトラブルや悩みを解決できる。 自らの意思に基づき、個性と能力を十分に発揮できる。 平和への意識を高める。

施策の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> 町民の人権に対する意識を高めるとともに、相談・保護体制を強化することで、人権侵害の軽減を図ります。 男女が互いにその人権を尊重しつつ、性別にとらわれずあらゆる分野において個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現を目指します。 核兵器廃絶平和の町として、平和の問題を町民の身近な問題としてとらえられるようメッセージを発信していきます。
---------	--

施策の成果指標	成果指標名	単位	区分	2016年度(H28)	2017年度(H29)	2018年度(H30)	2019年度(R1)	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)
	A	過去1年間に、人権侵害を受けた町民の割合	%	実績値	5.3	4.7	4.3	4.3	5.1	4.1
			目標値		5.3	5.2	5.2	5.1	5.1	5.0
B	全ての核兵器を速やかに廃絶すべきだと感じている町民の割合	%	実績値	87.2	87.4	88.2	88.8	88.4	90.9	
			目標値		90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
C			実績値							
			目標値							
D			実績値							
			目標値							
E			実績値							
			目標値							

指標設定の考え方と把握方法	<p>A) 数値が低くなれば、人権への意識が高まり、お互いを尊重しているといえるため成果指標とした。 町民アンケート(翌年度実施分)により把握 ※過去1年間に、差別や虐待、名誉毀損などの人権侵害を受けたことがありますか。→「はい」と回答した人の割合</p> <p>B) 町として、「核兵器廃絶平和の町宣言」を行っており、宣言の中で「私たちは、すべての核兵器の速やかな廃絶を求め、真の恒久平和が実現することを願ひ、」としているため、成果指標とした。 町民アンケート(翌年度実施分)により把握 ※全ての核兵器を速やかに廃絶すべきであると感じていますか。→「感じている」「どちらかといえば感じている」と回答した人の割合</p>
---------------	--

目標値設定の考え方	<p>A) 2016年度以前の実績から成り行きでは5.3%となるが、人権啓発を充実させ、2022年度は5.0%を目標とする。</p> <p>B) 2016年度以前の実績から成り行きでは毎年0.2%の減となるが、平和式典・戦没者追悼式を充実させ、2022年度は90%を目標とする。</p>
-----------	---

施策のための目的・役割分担	<p>1. 町民(事業所、地域、団体)の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> 平和や人権を身近に感じ、意識を高める。 町民がお互いに尊重しあい、思いやる意識を高める。 性別にかかわらず、社会のあらゆる分野における活動に参画する。 ロシアのウクライナ侵攻により平和に対する意識の変化がある。 <p>2. 行政(町、県、国)の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> 平和や人権に関する啓発活動を学校や生涯学習の場で行う。 性別にかかわらず、社会活動に参画し、活躍できる環境をつくる。 児童や高齢者、障害者などへの虐待の実態を把握し対策を講じる。 遺族会から忠霊塔の統合(月夜野・水上・新治地区)の要望がある。
---------------	---

施策を取り巻く状況	<p>1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか?</p> <ul style="list-style-type: none"> 戦後70年以上経過し、戦争を知る世代が高齢化している中で、町主催の「平和式典・戦没者追悼式」を毎年行っているが、年々参加者が減少している。 児童や高齢者、障害者などへの虐待に対する認識が広がる。 性的少数者に対する理解が進む。 ロシアのウクライナ侵攻により、平和への意識の変化がある。 <p>2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?</p> <ul style="list-style-type: none"> 遺族会会員が亡くなると、子・孫がいても戦没者との関係が遠いので脱退を希望する人が多い。 平和の尊さと戦争の悲惨さを次世代に伝えていくために、戦争に関する報道写真などを展示する等の企画をしてはどうか。 遺族会から忠霊塔の統合(月夜野・水上・新治地区)の要望がある。
-----------	--

施策	24	平和と人権の尊重	主管課	名称	町民福祉課
				課長	中西 紀子

実績比較		背景・要因	
施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	① 時系列比較	<input type="checkbox"/> かなり向上した。 <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。 <input type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態) <input type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。 <input type="checkbox"/> かなり低下した。	①過去1年間に人権侵害を受けた町民の割合は4.1%で、前年度より1.0ポイント減少している。 ②全ての核兵器を速やかに廃絶すべきだと感じている町民の割合は90.9%で、前年度より2.5ポイント増加した。
	② 他団体との比較	<input checked="" type="checkbox"/> かなり高い水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば高い水準である。 <input type="checkbox"/> ほぼ同水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば低い水準である。 <input type="checkbox"/> かなり低い水準である。	①他市町村のデータがなく、比較できないが、内閣府の「人権に関する世論調査(平成29年12月:調査は5年毎)」によると「今までに、自分の人権が侵害されたと思ったことがある住民の割合は15.9%となっている。町の町民アンケートによる人権侵害を受けたことがあると答えた割合は4.1%であった。 ②町独自のアンケート調査のため、他団体との比較は難しい。
	③ 目標の達成状況	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。 <input checked="" type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。 <input type="checkbox"/> ほぼ目標値どおりの成果であった。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。	①今年度の人権侵害を受けた町民の割合は目標値5.1%に対し、実績値4.1%で目標を上回った。 ②全ての核兵器を速やかに廃絶すべきだと感じている町民の割合の目標値は90.0%に対し、実績値90.9%で目標を上回った。

基本事業名		成果指標名	単位	区分	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
基本事業の成果指標	1 人権意識の高揚	A 人権講演会参加者数	人	実績値	80	296	200	210	0	0	
				目標値		200	200	200	200	200	200
	2 相談・保護体制の強化	A 人権に関する相談件数	件	実績値	28	13	17	24	14	16	
				目標値		29	30	31	32	33	34
	3 男女共同参画の推進	A 審議会・委員会等における女性登用率	%	実績値	14.4	16.7	17.2	20.6	20.6	24.9	
				目標値		17.0	19.6	22.2	24.8	27.4	30.0
	4 平和意識の高揚	A 平和式典・戦没者追悼式参加者数	人	実績値	140	123	129	112	0	0	
				目標値		140	140	140	140	140	140
			実績値								
			目標値								

基本事業名	今後の課題	今後の取り組み(案)
1 人権意識の高揚	・効果的な普及啓発活動の実施	①当事者や関係者だけでなく、町民に関心をもってもらいやすいテーマでイベント等行う。 ②町内で行われる各種イベント等において、人権擁護委員(8人)が啓発活動を実施する。前橋地方法務局沼田支局と連携し人権意識の高揚を図る。
2 相談・保護体制の強化	・相談内容の多様化により、関係機関との連携がより必要となっている。パーティションによる相談室を設置し姿は見えないが、声が外に漏れてしまうことがある。 ・認知症高齢者や単身世帯の増加が見込まれる中、認知症や障害等により判断能力が十分でない人の権利や財産を守る成年後見制度の利用が高まっている。	①福祉まるごとサポートセンター(仮称)を設置し、多様化する相談内容に関係機関と連携し対応していく。 ②専門的な相談員を引き続き庁舎内に配置するとともに、勉強会等を通じ知識の向上を図る。またプライバシーを守れる相談室を確保する。 ③令和5年度中に社会福祉協議会による法人後見制度の立ち上げを行う。
3 男女共同参画の推進	・女性登用率は徐々に高くなってきているが、男女共同参画社会及び多様性社会に対する更なる理解と意識の醸成を行う必要がある。	①県の啓発事業やホームページ等を利用し、意識の啓発を図り理解を促す。 ②男女共同参画のみならず、性的マイノリティ等、多様性社会についての理解を深める。 ③公共施設等のユニバーサルデザイン化を推進する。
4 平和意識の高揚	・戦後77年が経過し、大戦を知らない世代が大半となっており、戦争を伝える活動が大切となっている。 ・遺族会が高齢化し、会員が減少している。	①戦没者追悼式平和式典等のあり方や、平和の尊さと戦争の悲惨さを次世代の若者に伝える方法について検討していく。

令和 4 年 7 月 25 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000001	日本非核宣言自治体協議会参画事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	10,000 円	
施策体系	施策	24	平和と人権の尊重	日本非核宣言自治体協議会に参加し、核兵器の廃絶、平和宣言を呼びかけるとともに、自治体間の協力体制を確立する。		なし		事業実績		
	基本事業	04	平和意識の高揚					会員自治体数・宣言自治体数		
組織名		総務 課		総務 係		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策		
事業期間		継続事業	会計 1 款 3 項 1 目 1	課題なし		なし		令和 2年度	令和 3年度	単位
								343・1650	342・1653	団体・団体

令和 4 年 8 月 1 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000005	自衛官募集事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	51,817 円	
施策体系	施策	24	平和と人権の尊重	自衛官又は自衛官候補生の募集に関する広報宣伝や募集に関する事務を行う		特になし		事業実績		
	基本事業	04	平和意識の高揚					自衛隊入隊者数		
組織名		町民福祉 課		住民・戸籍 係		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策		
事業期間		継続事業	会計 1 款 3 項 1 目 1	限られた時間で効率的に事務を行うため、事務事業の行動計画をつくる。		特になし		令和 2年度	令和 3年度	単位
								0	0	人

令和 4 年 8 月 1 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000002	人権擁護委員事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	123,500 円	
施策体系	施策	24	平和と人権の尊重	前橋地方法務局沼田支局管内の人権擁護委員で構成されている沼田人権擁護委員協議会へ負担金を支出している。同協議会は町内の小中学校で人権教室、特設人権相談所や心配ごと相談所などの相談業務、また町が主催で行う人権啓発講演会で啓発活動をしている。		特になし		事業実績		
	基本事業	02	相談・保護体制の強化					開催回数(会議・研修会)		
組織名		町民福祉 課		住民・戸籍 係		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策		
事業期間		継続事業	会計 1 款 3 項 1 目 1	人権擁護委員協議会の事務局である前橋地方法務局沼田支局と町と情報共有の方法を検討する。		特になし		令和 2年度	令和 3年度	単位
								3・1	6・2	回

令和 4 年 8 月 1 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000003	平和式典・戦没者追悼式事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	41,697 円	
施策体系	施策	24	平和と人権の尊重	戦争により犠牲になられた方々への哀悼の意をあらためて表すと共に、平和の尊さを次世代に伝えるために実施する事業。		令和3年度はコロナウィルスのため中止し、遺族会代表、町長、議長、副議長により3ヶ所の忠霊塔の参拝を実施した。		事業実績		
	基本事業	04	平和意識の高揚					式典参加者数		
組織名		町民福祉 課		障害・福祉 係		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策		
事業期間		継続事業	会計 1 款 3 項 1 目 1	遺族の高齢化等により、式典に参加する人数が減少。千羽鶴作成依頼先の、町内中学校では、生徒減少により負担となっている。		式典の実施方法を工夫する。		令和 2年度	令和 3年度	単位
								0	0	人

令和 4 年 8 月 1 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000002	遺族会活動支援事業			① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	196,676 円				
施策体系	施策	24	平和と人権の尊重		みなかみ町に居住する戦没者遺族の会の運営。靖国神社、県護国神社の参拝に関する遺族の援護、並びに福利に関することなどを主な事業としている。	特になし	事業実績					
	基本事業	04	平和意識の高揚				県戦没者追悼式の参加人数					
組織名		町民福祉	課	障害・福祉	係	② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策					
事業期間	継続事業	会計	1	款	3	項	1	目	1	令和 2年度	令和 3年度	単位
遺族の高齢化等による町遺族会員の減少										0	0	人

令和 4 年 8 月 1 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000001	心配ごと相談・法律相談事業			① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	457,667 円				
施策体系	施策	24	平和と人権の尊重		町民の福祉増進を図ることを目的として心配ごと相談・法律相談事業を実施している。なお、心配ごと相談所の開設運営については、社会福祉協議会に委託している。	社会福祉協議会と協議し、令和5年度から重層的支援体制整備事業と一体的に実施することとした。	事業実績					
	基本事業	02	相談・保護体制の強化				相談件数					
組織名		町民福祉	課	障害・福祉	係	② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策					
事業期間	継続事業	会計	1	款	3	項	1	目	1	令和 2年度	令和 3年度	単位
重層的支援体制整備事業の相談支援へつなぐ仕組みを検討する必要がある。										34	30	件

令和 4 年 8 月 1 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000007	特別弔慰金支給事業			① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	13,192 円				
施策体系	施策	24	平和と人権の尊重		戦没者の遺族に対して国が支払う弔慰金について、5年ごとに請求が行われ、その受付窓口として各市町村が対応する	特になし	事業実績					
	基本事業	04	平和意識の高揚				請求件数					
組織名		町民福祉	課	障害・福祉	係	② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策					
事業期間	期間限定事業	会計	1	款	3	項	1	目	1	令和 2年度	令和 3年度	単位
特になし										205	6	件

令和 4 年 8 月 1 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000002	人権教育推進協議会運営事業			① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	21,504 円				
施策体系	施策	24	平和と人権の尊重		みなかみ町人権教育推進協議会(社会教育委員)の運営及び各種研修会等への参加、人権に関するポスターの展示や人権啓発に関するイベントなどを行い、人権教育の啓発・振興に努める。	今年度も町内小中学生を対象に「人権に関するポスター」を募集した。表彰式等は中止となったが、町広報誌に入賞作品を掲載した。	事業実績					
	基本事業	01	人権意識の高揚				人権ポスターの応募者数					
組織名		生涯学習	課	生涯学習	係	② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策					
事業期間	継続事業	会計	1	款	10	項	5	目	1	令和 2年度	令和 3年度	単位
町内小中学生に「人権に関するポスター」を描いてもらい、人権を考えるよいきっかけとなっているが、その他(特に成人)に対する人権教育を推進する場が少ない。										64	35	人